

令和元年度 第149回 新潟市農業振興地域整備審議会 議事概要

日 時	令和元年7月11日(木) 午前10時～11時30分
場 所	白山会館 2階 太平明浄
出席者	新潟市農業振興地域整備審議会委員 平泉委員, 久川委員, 和泉委員, 石塚委員, 鎌田委員, 和田委員, 杉本委員, 小柳委員, 高橋委員, 梨本委員, 北上委員, 齋藤委員, 田中委員 事務局および関係課 農林政策課長, 農林政策課長補佐, 農業活性化研究センター長, 農村整備・水産課長, ニューフードバレー特区課長, 食と花の推進課長, 食と花の推進課長補佐, 中央農業委員会事務局次長, 北区産業振興課長, 江南区産業振興課長, 秋葉区産業振興課和田係長, 南区産業振興課長, 西区農政商工課長, 西蒲区産業観光課長
	議 題
1	(1) 新委員の紹介
2	(2) 報告 ① 農業構想の進捗状況について ② 新潟市農業構想 目標の達成状況と評価
3	(3) 審議 ① 近年の農業を取り巻く環境の変化 ② 取り組み内容の追加について(案) ③ 農業構想における目標の追加および修正について(案)

議事次第
<p>1. 開会 2. あいさつ 3. 議事</p> <p><u>(1) 新委員の紹介</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1を用いて, 新委員の紹介を行った。 ・資料1-2を用いて, 平泉会長より小委員の指名を行った。 ・質疑 → 特になし <p><u>(2) 報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・①, ②について, 資料2-1, 2-2を用いて, 報告を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ① 農業構想の進捗状況について ② 新潟市農業構想 目標の達成状況と評価 ・質疑 → 久川委員 (指標5 新規就農者数について) 今年で新規就農の方が74名で目標を達成しているが, 定着の状態とその後のケアについて, 把握しているか。 ◇事務局 (農林政策課) 平成29年度の定着数は8名で, ケアを実施している。

議事次第

◇和田委員 (指標5 新規就農者数について)
 農業サポーターから農家で働く人もいると聞いているが、制度があっても、ただのお手伝いで終わっている印象がある。
 定年退職の人が新規就農者になるというのは難しいが、若い人や引きこもりの人や農福連携などがあるが、農業の職業として魅力を伝えることがあまりなされていない印象がある。
 サポーターとして個々の農家へ行って体験する取り組み等はあるが、体系的に農業の職業としての魅力を伝えるような取り組みはあるか。

◇事務局 (農林政策課)
 新規就農者の支援については、本市のみならず新潟県もやっている。
 就農相談等はあるが、農業の魅力等を伝える部分はあまりできていない。
 新規就農者の定着にも関わるが、就農する場合、農業用機械などのインフラ整備で初期費用がかかるため、必要な政策を出してはいるが、積極的に支援していきたいと考えている。

→ 和田委員 (指標3 学校給食における地場農産物の利用割合)
 新潟市は、農業に力を入れている割に利用割合の数値が低いけどどう考えているか。

◇事務局 (食と花の推進課)
 国の食育推進計画(県内産)では、「30%」となっていて、それに合わせた目標設定にしている。
 給食においては、給食費の限られた予算のなかで行っており、できるだけ安い野菜を購入するため、数値が低くなっている。

◇和田委員
 値段について
 地場農産物は高いとの話があるが、規格外の野菜が大量に農産物で出来ているのでそうしたものは使えないか。

◇事務局 (食と花の推進課)
 現場では、規格外の野菜を使うと手間となるため、規格外は使用していない。

→ 杉本委員 (指標3 学校給食における地場農産物の利用割合)
 米の品種は何を採用しているか。

◇事務局 (食と花の推進課)
 令和元年度から市内産の「こしいぶき」を使用している。

◇杉本委員
 給食で米を提供する際に、日によって品種を変えることができれば、子供たちも興味を持てると思うがいかがか。
 (品種によって、炊飯方法が大きく変わることはない。)

◇事務局 (食と花の推進課)
 G20 サミットの際には、各国の料理を給食で提供したことがあった。ご提案の内容についても、関係課と協議していきたい。

議事次第

- 鎌田委員 (指標3 学校給食における地場農産物の利用割合)
規格が厳しく、なかなか出荷できる農産物が少ないため、A級品の値段が高騰してしまう。
給食センターなどの現場と調整して、B級品を使用できるようにしないと指標の数値が上がらない。
- ◇杉本委員 新潟市の農業の底力が弱く生産力が低いため、A級品を出荷できる農家が少ない。
そのため、給食に使えるものが少ない。
- ◇事務局 (農林政策課) 園芸産地の大規模化の取り組みを行うことで、給食で使える農産物を増やしていきたいと考えている。

(3) 審議

・①, ②, ③について、資料2-3~2-5を用いて、報告を行った。

- ① 近年の農業を取り巻く環境の変化
- ② 取り組み内容の追加について (案)
- ③ 農業構想における目標の追加および修正について (案)

・質疑

- 和田委員 (新規指標 新たな園芸産地の形成)
累計の数値は、現在の数値か。
- ◇事務局 (農林政策課) 新潟県でも「大規模園芸産地の形成」で見直しを行っている。
県の計画では、「1億円の売り上げをあげる産地を増やす」という目標を掲げており、現在51産地あるが、さらに50産地増やす計画とのこと。
新潟市としては、補助事業を活用している農業関係者等が、さらに発展できるように補助事業を整備する。
平成30年度の数値は、次のとおり。
・「越後中央農協 (たまねぎの産地化)」
・「みらい農協 (パイプハウスの産地化)」
・「新潟市農協 (パイプハウスの産地化)」
令和元年度は、
・「みらい農協 (パイプハウスの産地化)」
・「みらい農協 (えだまめの産地化)」
・「全農にいがた (たまねぎの産地化)」
- ◇和田委員 作物として、何を産地化しようと考えているか。
- ◇事務局 (農林政策課) 産地が伸び悩んでいる部分、後継者が生まれない部分があるので、特定の作物の産地化というよりは、集荷場や機械化等の支援で力を入れている部分を支援していきたいと考えている。

議事次第

- 鎌田委員 I C Tを利用したスマート農業の方向性にのれない小規模の農家への支援はどうなっているか。
また、農家の所得向上につながる直売所への支援はどうなっているか。
- ◇事務局 (食と花の推進課) 行政として、直売所を支援する施策はないが、考えていきたい。直売所の最近の傾向については、以下のとおり。
今までは右肩上がり直売所の数が増加してきたが、現在は減少傾向にある。
背景には、直売所の大型化等により、淘汰されてきている。
- ◇鎌田委員 直売所のラベル補助やきゅうりの無農薬検査料の補助などを行っている自治体もある。
そうした補助をしていかないと農業が衰退すると思うので、ご検討いただきたい。
- 久川委員 (資料2-3 農業構想 中間見直し)
社会情勢などの環境の変化(自由貿易の加速等)に対して、「農業構想 中間見直し」の内容(田んぼダムの目標値を変更等)と合っていない印象を受けた。
市として、指標1に記載のある輸出用米の取り組み拡大といった内容について、見直しを検討したのか。
- ◇事務局 (農林政策課) 指標1について、「水稻作付面積」が伸びると、米の需要が減り、米の価格に影響がある。
- ◇久川委員 農業構想の中の新規需要米で、輸出用米の対策を考えていくことになるか。
- ◇事務局 (農林政策課) 現在の目標値のままとしている。
- 和泉委員 (資料2-3 農業構想 中間見直し)
スマート農業(I C Tの推進)について、指標で示すのが難しいのであれば、事業の実績として報告するのがよいのではないか。
大規模園芸産地の形成には、圃場整備が必要で、圃場整備がI C Tの推進にもつながる。
- ◇事務局 (農林政策課) スマート農業(I C Tの推進)について、指標を考えたが、急激な普及は見込めないため、現在は検討段階である。
- ◇事務局 (農村整備・水産課) 新潟市は低湿地、地盤沈下が多いため、これまでは用排水対策を中心に行ってきた。
新潟市では、平成28年度より圃場整備を促進する補助を行っている。
現在、15地区で圃場整備事業が進められている。

議事次第	
→ 鎌田委員	スマート農業（ICTの推進）について、ほかの職業より遅れているが、啓蒙活動はどうなっているか。
◇事務局 (農林政策課)	「アグリノート（ウォーターセル株式会社）」（Google Mapで自分の農地を確認できる）を導入している若手農業者が増えているというのは聞いている。 スマート農業（ICTの推進）の推進についても、新潟市としては支援していきたいと考えている。
4. その他 事務局 (農林政策課)	今後のスケジュールについて 次回開催は9月以降を予定している。
5. 閉会	
配布資料	
資料1-1	新潟市農業振興地域整備審議会 委員名簿
資料1-2	新潟市農業振興地域整備審議会 小委員名簿（案）
資料2-1	新潟市農業構想の進行管理について
資料2-2	新潟市農業構想 目標達成状況と評価
資料2-3	近年の農業を取り巻く環境の変化
資料2-4	取り組み内容の追加について（案）
資料2-5 (冊子)	農業構想における目標の追加および修正について（案） 新潟市の農業構想